

帝京大学総合博物館企画展

コツコツ調べて

コツコツ集めました！



TUM
TEIKYO UNIVERSITY MUSEUM

帝京大学総合博物館開館10周年記念

ホネ ホネ

ワンダーランド

～骨の不思議を探る～

閉館日：日曜日・祝日・3月1日(土)

開館時間：9:00～17:00 (最終入館16:30)

主催：帝京大学総合博物館

会場：帝京大学総合博物館企画展示室
(帝京大学八王子キャンパス
ソラティオスクエア地下1階)

2025年

2月27日(木)

2025年

～3月30日(土)～

骨の起源や、生命の歴史、文化史、最新医学・医療を貴重な資料や映像を通して紹介

私たちヒトを含む背骨を持つ動物を、脊椎動物と呼びます。脊椎動物は、体の内側に自身の体を支えるための骨格を持っています。多くの場合この骨格は、じん帯や軟骨、そして石灰化した硬い組織で構成されています。この硬い組織は、骨細胞と、その周りを埋めるリン酸カルシウムとコラーゲンを主な成分としています。これが「骨」です。骨は、体を支える骨格を作る重要な役割を担っています。さらに骨は、生命の維持に必要なミネラルであるカルシウムを蓄える役割も持っており、様々な形で脊椎動物を支えています。また骨は、人類の文化の形成にも密接に関わっており、私たちの生活にも影響を与えています。このように、骨と私たちは切っても切り離せない関係にあり、骨について研究することは私たち自身を深く知ることに繋がります。

帝京大学には、「骨」をキーワードに研究を進めている様々な分野の専門家が在籍し、その成果を活かした幅広い活動を行っています。本展覧会は、それらの研究に関連して集められた貴重な資料を紹介します。あわせて、関係機関が所蔵する、骨の起源から進化の歴史をたどることのできる古生物の化石や、現生の動物の骨の標本や、特殊な方法で撮影された骨の貴重な映像から骨の不思議に迫ります。

第1章

骨の起源

背骨の原型となる脊索を持つ動物



ヒカリア(複製)
【所蔵：東海大学海洋学部博物館】



三葉虫(ディクラヌス)
【所蔵：東海大学海洋学部博物館】



ボスリオリピス(複製)
【所蔵：東海大学海洋学部博物館】

「外骨格」の動物も紹介

原始的な骨の「鎧」を持った魚

第2章

骨の進化と多様性

ジュラ紀の代表的な肉食恐竜



アロサウルスの頭蓋骨(複製)
【所蔵：東海大学海洋学部博物館】

骨の多様性を知る



哺乳類の頭蓋骨
【所蔵：帝京大学文化財研究所・帝京大学福岡医療技術学部】

第3章

骨の文化史

帝京大学のキャンパス内で発掘された古代人の頭蓋骨から生前の姿を探る



上つ原遺跡(東京大学八王子キャンパス内)から発見された頭蓋骨
【多摩市教育委員会所有・帝京大学保管】



頭蓋骨の特徴などから推定される生前の姿
【画：戸坂明日香】

遺跡から発見された骨から当時の生活を復元する

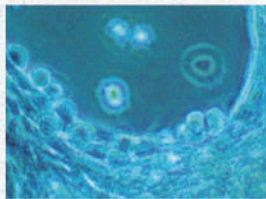


由比ガ浜中世集団墓地遺跡(鎌倉市)から出土した鎌倉時代のウマの骨
【所蔵：鎌倉市教育委員会】

第4章

私たちの骨

骨を作る細胞



骨芽細胞の顕微鏡画像
©ICAM



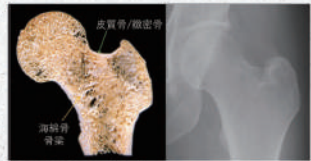
ヒトの骨の模型
【所蔵：帝京大学総合博物館】

骨のかたちの意味を探る

第5章

骨の医学と医療

骨を見る技術



大腿骨の断面とX線写真
【写真提供：帝京大学医学部放射線科学講座】

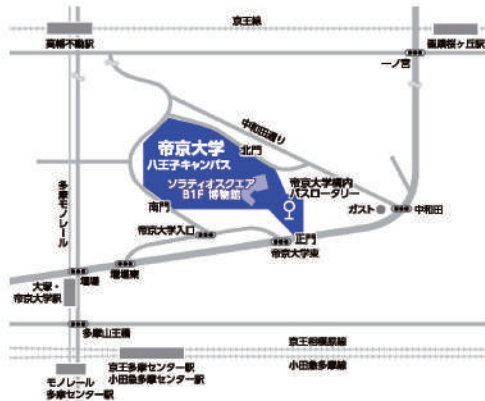


ポータブルエコー miruco
【写真提供：日本シグマックス(株)】

ポータブルエコーで迅速に診断する



1/骨髄【©ICAM】・2/骨芽細胞【©ICAM】・3/海綿骨【©ICAM】・4/セイムリア【所蔵：東海大学海洋学部博物館】・5/三葉虫(カンプロバラス)【所蔵：東海大学海洋学部博物館】・6/アロサウルスの頭蓋骨(複製)【所蔵：東海大学海洋学部博物館】・7/スミロドン頭蓋骨(複製)【所蔵：東海大学海洋学部博物館】・8/アンモナイト(ドゥビレイセラス)【所蔵：個人】・9/ステノプテリクス全身骨格(複製)【所蔵：東海大学海洋学部博物館】・10/カブトエビ【出典：Adobe Stock】・11/ウシの頭蓋骨【所蔵：帝京大学文化財研究所】・12/シカの頭蓋骨【所蔵：帝京大学文化財研究所】・13/アーク・ベシム遺跡の発掘調査【写真提供：帝京大学文化財研究所】・14/上つ原遺跡2号横穴墓出土人骨【所有：多摩市教育委員会・保管：帝京大学総合博物館】・15/猿を付けた高野のヤギ【写真提供：帝京大学福岡医療技術学部】・16/足の骨のX線写真【写真提供：帝京大学福岡医療技術学部】・17/全身骨格図【出典：Adobe Stock】



*大学構内に来館者用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
*高幡不動駅・聖蹟桜ヶ丘駅・多摩センター駅から「帝京大学構内」行きのバスが便利です。(所要時間15~20分)
*車いすでのご来館予定の方は事前にご連絡ください。

関連イベント

- 講演会 ホネホネ入門講座**
 各回共通 ※要申込
 会場：八王子キャンパスソラティオスクエア地下1階5011教室
 ※帝京大学総合博物館の横の教室です。
 時間：10:30~12:00
 開催日：5月31日(土)
 演題：「解剖学入門―骨のかたちの意味を探る―」
 講師：星秀夫(帝京大学医療技術学部薬学看護学科 教授)
 開催日：6月7日(土)
 演題：「人類学入門―人骨から見た日本人の歴史―」
 講師：坂上和弘(国立科学博物館人類研究部人類学グループ グループ長)
 開催日：6月28日(土)
 演題：「動物考古学入門―出土した骨から探る人と動物の関係―」
 講師：植月学(帝京大学文化財研究所 教授)
 開催日：7月26日(土)
 演題：「古生物学入門―骨化石からわかる恐竜・哺乳類の進化―」
 講師：泉正博(ふじくに地球環境史ミュージアム 客員教授)

申込について：1,2共通(申込不要な講座は除きます。)

申込方法：博物館窓口、お電話、ホームページ/電話：042-678-3675

締切日：各講座の当日まで受付(定員になり次第締切)

- 科学体験教室ホネホネ体験講座**
 会場：帝京大学総合博物館
 開催日：5月17日(土)・7月12日(土)
 時間：10:00~12:00/13:30~15:30
 テーマ：「ウシを見て知るキーホルダー」を作ろう
 ※申込不要・開催時間内に随時受付※企画提供：牛の博物館・若手大学自然史探検団
 開催日：5月24日(土)・6月21日(土)・8月22日(金)・8月23日(土)
 時間：10:00~12:00/13:30~15:30
 テーマ：「ミニミニ化石発掘体験」
 定員：各回40名
 ※要申込・申込した時間の枠内で随時お越しください。
 開催日：8月2日(土)
 時間：①10:00~12:00 ②13:30~15:30
 テーマ：鳥の羽根、ほねほね大解剖！―手羽先で学ぶ1鳥の骨格標本づくり―
 定員：各回15名
 講師：堀川司(帝京大学福岡医療技術学部理学療法学科 講師)
 ※要申込
- 化石フェア**
 【協力】
 世界の化石販売 KASEKIYA
 開催日：5月24日(土)・7月25日(金)~26日(土)・8月22日(金)~23日(土)
 時間：10:00~16:00
 内容：化石の特別販売
 会場：帝京大学総合博物館